



玄界灘に突き出た志摩地域

すべては海から始まった

玄界灘を通じた大陸との交流史

志摩歴史資料館は、糸島半島の北部、志摩地域から出土した考古資料を中心に展示公開・収蔵・研究を行う施設です。

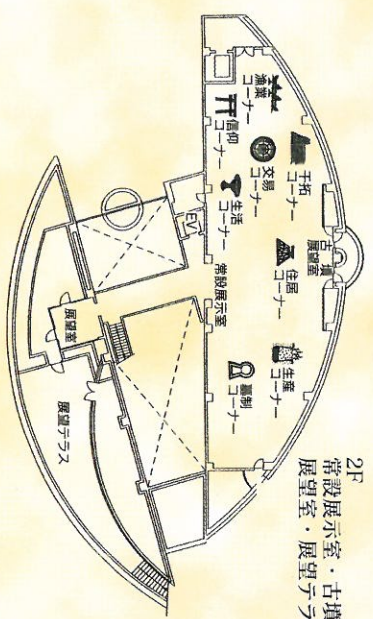
志摩地域は玄界灘に突き出た半島部にあたり、古来から中国大陆や朝鮮半島との交易をはじめ、「海」を媒体とした他地域との交流を活発に行ってきた地域です。

この地域の遺跡からは「海」に関係の深い遺物が多く出土しています。

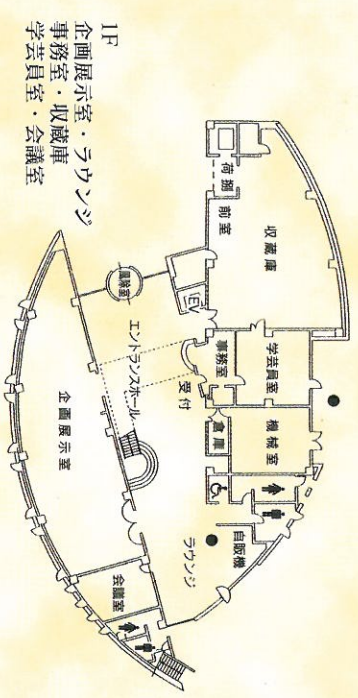
本館の常設展示は、この「海」を大きな柱として、「住居」「生活」「交易」「信仰」「漁業」「干拓」「生産」「墓制」の8つのテーマに分けて展示が構成されています。いずれも実物資料以外にシリアル等もふんだんに使用し、子どもから大人までわかりやすい展示となっています。



引渡湾沿岸の遺跡から出土した古代中国銭(貨泉・半两銭)



2F
常設展示室・古墳展望室
展示室・展望テラス



1F
企画展示室・ラウンジ
事務室・収蔵庫
学芸員室・会議室

建築概要

◇構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	地上2階
◇敷地面積	24,000㎡	347㎡
◇建築面積	944㎡	196㎡
◇延床面積	1,321㎡	156㎡
◇収蔵庫		43㎡
◇学芸員室		



新町支石墓群(国史跡)の安石磐



新町支石墓群出土土器(県指定有形文化財)



豊永開瀬正図(近世干拓の様子)